

有限会社 伊藤製作所

対象類型 精密加工
事業類型 一般型：先端設備等導入計画の認定取得
主たる目的 生産性向上、技術革新

建設機械のオーバーホールに革命を起こす 革新的加工技術開発事業



- 1 / 外注していた機械加工を自社で行うために導入された最新NCフライス盤。 2 / ハイコラム仕様に改良され、操作性も高い。生産効率の向上に貢献している。 3 / オーバーホール中の大型建機のアタッチメント部分。

最新フライス盤の導入で、オーバーホール工程の生産効率が向上。

車両系建設機械のアタッチメントの生産・改造・修理をメインに行う伊藤製作所。大型板金加工技術を活かし、顧客の要望に応じた部品を設計から製作まで一貫体制で請け負う。さまざまな環境下で用いられる建設機械の稼働部品は、損耗が激しくそのまま使い続けると重大な事故が生じる恐れがある。そのため一定期間の使用でオーバーホール（分解・点検修理）が必要になるが、オーバーホール中は部品輸送などで長期間にわたり建設機械が使用できなくなる。作業には平均7日程度の工期を要するが、機械加工を担当する外注先の状況によっては、工期が長引くことも。建設機械が停止する事態は工事全体にも影響を与えるため、顧客である

建設業者からはオーバーホールに対するコスト削減と短納期化を求める声が高まっていた。

そこで本事業では、最新のNCフライス盤を導入し外注していた建機部品の社内加工を目指した。導入にあたっては、ハイコラム仕様に設備を改良。通常30cmだった高さを60cmまで拡大し、対応できる部品加工の幅を広げた。各建機メーカーの機械部品を自社で作れるようになったことで工程の生産効率も向上。さらに製造・加工の一貫体制が整ったことで、顧客ニーズに応じた試作品の開発も可能になった。

注目すべき成果

社内加工が可能になったことで、生産効率が向上。

社内加工の転換に成功したことに加え、導入された最新NCフライス盤は、16段ギヤ変則の主軸頭が搭載された接近性・操作性を重視するオープンタイプで、加工ガイダンス機能付き。操作が容易にできる点も、生産効率の向上に貢献した。

本事業による付加価値

試作品開発で広がった新規事業への挑戦。

溶接から板金までを自社で製造・加工できるようになったことで、試作品開発など顧客ニーズに対応することが可能になった。拡大する建設機械需要動向と相まって、新規案件の獲得にもつながっている。

今後の展望

会社の成長に向け、オペレーターの確保と社内教育に注力。

自社での一貫生産体制が可能になったことで、人材の雇用・育成も喫緊の課題ととらえる。オリンピックなどの建設需要などにより、建機の生産台数は増加の一途をたどり、今後の需要に対応するためにも、人材活用に力を入れていく。

ものづくり専門員から一言

まちづくりを陰で支える技術力。

壊れたものを新しくするものづくり。特に需要が拡大している建設業界において、建機のオーバーホールで活かされる同社の技術力は欠かせない。今後は市場の動向も見据えながら、培った技術で建機アタッチメントのさらなる可能性を追求していく。

こんな会社です！

お客様が求める最高の質を追求し続ける。

当社は1988年の創業以来「お客様が求める最高の質を追求し続ける」をモットーに、大手建設機械メーカーや大手土木専門工務会社・建機リース会社と直接契約を交わし、建設機械のバケットなど各種アタッチメントの製造・改造・補修事業を手掛けてきました。特にダム工事などに使われる特殊な大型建機のオーバーホールを受け入れているのは、県内でも数が少ないです。こうした既存の強力ルートを活用し、新規案件の受注も目指していきます。自社のものづくりが街の発展に貢献できるよう、今後はより一層技術力を磨いていきたいと思っています。



建機のオーバーホールで使用されるボーリングマシン。



代表取締役
伊藤 誠治さん



本社・工場

有限会社 伊藤製作所

代表者：代表取締役 伊藤 誠治
設立：1988年（昭和63年）10月
資本金：700万円
従業員数：2名

事業内容：溶接加工・機械加工全般、
車両系建設機械修理・製罐、
各種アタッチメント製作・修理・改造、
特殊車両製作・修理・改造

本社：〒916-0038 鯖江市下河端町86-16-1
☎ 0778-52-2014 FAX 0778-53-1257
E-mail：seiji110@rudyn.ocn.ne.jp